

栗林福祉だより

温もり

ぬく

高松市
社会福祉協議会
栗林分会

(題字は栗林小学校6年 橋本 菜心 さん)



「地域の守り」おまかせ!

交通安全は家庭から
栗林校区交通安全母の会
会長 御殿みき
栗林校区交通安全母の会
は昭和58年に前任の岡崎ケ
イ子会長が立ち上げ、以降
約40年近く活動して来まし
た。

交通安全母の会は「交通
安全は家庭から」を基本理
念に活動してい
ます。お母さん
が家族に「いつ
てらっしゃい、
気を付けて
ね。」と声をか
ける。これが原
点ではないで
しょうか。

近年は交通事故だけでは
なく、さまざまな犯罪や事
件も多発しています。家庭
の中で、お互いに気を付け
るところから、外に出た時
にも意識を持って行動でき
ると思います。



現在の活動内容は、年数
回の交通安全街頭キャン
ペーンが中心となっていま
す。栗林公園東門前での
キャンペーンには池田知事、
大西市長をはじめ多くの方
にご参加頂いています。ま
た、年末には上之町アイゼ
ン前の交差点でドライバ
ーの方にお花を配るキャン
ペーン、春にはヤクルトを
お配りするキャンペーンも
予定しています。どなたで
も参加可能ですので、ご賛
同いただき、栗林校区から
事故が起きないように啓発し
ていきたいと思います。

また今年度は高松
市交通マナーアップ
モデル地区に認定さ
れています。車はも
ちろん、自転車の方
も交通ルールを守っ
ていただき、自身の
身を守る為にも必ず
ヘルメットの着用もお願い
します。

今後この「交通安全は
家庭から」の基本理念を念
頭におき、栗林校区から事
故や事件が起きないように、
微力ではありますが、活動
していければと思いますの
で、今後とも皆さまのご協
力をよろしくお願いいたし
ます。

2・3面に座談会

高松市社会福祉協議会 栗林分会

【主な活動】

- 総会(5月)
- 研修旅行
- 敬老会事業(9月)
- 福祉餅つき(12月)
- げんき社協の会(奇数月の第1水曜日)



- いきいき倶楽部やふれあいサロン事業などの支援
- 社協だより「温もり」(毎年1月発行)
- 高齢者ひとり歩き見守り模擬訓練
- 会員募集 など

編集後記

今回の座談会は「地域の守り」をテーマにしました。高齢者から子どもまで、さまざまな分野で、地域の「安全安心」に取り組みリーダー4人の方に登壇いただきました▼地道な活動に感謝するのと併せ、皆さんも心一つに、サポートの手を差し延べましょう。(K)

令和7年度 新任民生委員

石井 鎌 竹
井 周 田 元
史 扶 菊 幸
佳 輝 乃 子

よろしく
お願いします。
(敬称略)



などで行われました。
対象者(昨年8月1日現在)は2319人(男性880人、女性1439人)で、昨年より55人増。このうち100歳以上が前年より5人増え11人、人生百年代「へ」拍車がかかっています。記念品贈呈は、栗林小のほか、室新町自治会館、花ノ宮南部自治会館など4カ所で行われました。

100歳以上が11人 栗林校区敬老者2300人超

満75歳以上の後期高齢者をお祝いする栗林校区敬老会が昨年9月14日(日)、栗林小学校

令和8年度から敬老祝賀の対象年齢が変更になります

栗林校区コミュニティ協議会は、対象者の増加等に伴い、敬老祝賀の対象年齢を見直しました。令和8年度から下記の通り変更します。



簡単な上、チーズ味なので子供から大人(お酒のおつまみにも)まで食べられる一品です。しらすのカルシウム、ビタミン、タンパク質、DHA、EPAなど多くの栄養素が取れます。チーズにも沢山の栄養素があるのでW効果です。どちらも塩分が多い食品ですのでしらすは塩分の少ないものを選んでください。



水野 博子さん
(桜町2丁目)

油揚げのしらすピザ風

【材料】
油揚げ(2枚入り長方形のもの)1袋
釜揚げしらす40g~50g(24g×2パック)
溶けるチーズ約50g(スライスチーズでも可)

【作り方】
①油揚げを半分(2枚)に切る。(2枚なので4枚に) ②しらすを均等に油揚げの上にのせる。
③チーズを②の上にのせる。 ④グリルに入れ中火で数分、チーズが溶けて少し茶色の焦げ目がついたら出来上がりです。
※しらすはシーチキン・鮭フレーク・ベーコン・トマト等々お好きな食材でどうぞ!!
トースター(アルミホイルを敷いて)でもOKです。



子どもの見守りから

お願いしています。顔なじみになることが児童に安心感を与えることにつながっていると思います。スーパーなどで、逆に児童から声を掛けられることもあり、「やったー」と嬉しく



山口さん

は、全国的に増え続けています。栗林校区でも一昨年5月に発生し、現在も発見に至っておりません。認知不明者は、自覚がなく名前も言えない方がほとんどで、発見がしにくいのが現状です。栗林校区は、マンション世帯が多く、住民同士の関わりが希薄で、声が掛けにくく発見が遅れてしまいます。「高齢者ひとり歩き見守り」の訓練は、少しでも多くの人材が不明者の早期発見、保護への意識を持ってもらうのを併せ、子どもたちには他人を思いやる心を育てたいと願っています。

ゴミ捨てにも気配り 児童への声掛けお願い 備えあれば憂いなし

衛藤
山口
有友

「分別ガイドブック」にあるように、生ごみは水切りしたり、液体が入った容器は水洗いし、キャップ、ふた、ラベルなどは取り除く気配りを守って欲しいです。

地域でも集合住宅に暮らしている方が大勢います。オートロックのマンションの場合、最初は呼び出しに応じてもらえず、手紙をポストに入れて帰ります。折り返し電話をかけていただく事もありますが、ない方は再訪問します。早く信頼関係を築きたいと願っているのですが、個人情報などの関係で難しい、と言うのが現状です。仲間の皆さんとともに、対策を話し合っています。

山口 児童の安全や幸せを望む気持ちと同じ方向に向いています。それぞれが出来ることをやり、話し合ったり協力することで、解決出来ない問題のヒントになるのでは。相手を尊重しつつ、力を合わせる活動が「栗林のスタンダード」となることを望んでいます。



有友さん

たっております。家族の方や学校、校区に要望したいことは。

お年寄りのサポート

栗林校区コミュニティ協議会(高田稔会長)は、「安全安心」なまちづくりを重点目標に掲げ、各種団体挙げて活動に取り組んでいます。今回の座談会は「地域の守り」をテーマに、それぞれの分野でリーダーとして活躍されている方4人に参加していただきました。フロントには、令和7年度の交通安全マナーアップモデル地区に指定された栗林校区を代表して、交通安全母の会・御殿みき会長に寄稿をお願いしました。

(司会は、有友孝雄・高松市社会福祉協議会栗林分会長)



石川さん

有友 皆さんにお尋ねします。どのような活動をされていますか。石川 毎年6月に栗林小学校で防災学習を実施しています。低・中・高学年に分け、非常食や新聞スリッパ



遠藤さん

らしや高齢者の方の相談に応じ、それぞれに合った情報を提供したり、援助をしています。また、見守り活

日頃から防災意識を 人と人とのつながり

石川
遠藤

動や行政へのパイプ役を務めています。独り暮らしの方を訪ねた際、「今日、初めてしゃべったわ」と言われる方が多いのに驚きます。そんな時は、人とのつながりのあるセンター講座などを紹介します。参加した方

作成して新入生に配布したり、児童全員にホイッスルを配り、不審者対応や災害時の居場所を知らせる手段となることを願っています。

有友 遠藤さん、社協栗林分会が一昨年から行っている「高齢者ひとり歩き見守り」の模擬訓練に協力団体として参加しています。どのような趣旨の活動ですか。



衛藤さん

その際、りんちゃんささえ隊のルールに則り、元気に挨拶や見守りする

座談会出席者

(敬称略)
(順不同)

- 石川 雅信 (栗林校区自主防災組織 連絡会 会長)
- 遠藤 まり (高松市民生委員児童委員 栗林地区 副会長)
- 山口 露 (栗林校区青少年健全育成 連絡協議会 会長)
- 衛藤 康一 (りんちゃんささえ隊 リーダー)
- 有友 孝雄 (高松市社会福祉協議会 栗林分会長)

記憶に残る 思い出の昭和

昨年の昭和100年、戦後80年では、校区の皆さまから苦勞した思い出話などを投稿していただきました。今年は戦後の復興期に勇気づけられた娯楽やスポーツなどで、青春時代の思い出を寄せてくださいました。昨年11月号の「お〜い！栗林」でも昭和27年のNHKラジオで放送された「君の名は」を紹介しました。歌謡曲では「りんごの唄」や「青い山脈」が大ヒットしました。力道山が登場して空前のプロレスブームを巻き起こしました。

テレビ放送は昭和28年から 始まりました。

相撲界を引退して、プロレスに転じた力道山が、日本柔道史上、最強といわれた木村政彦とタッグを組んで、世界チャンピオンのシャープ兄弟と闘ったタイトル戦。テレビ中継された東京新橋駅には、約2万人が詰めかけたと言われています。

当時、わが家にはテレビはありません。近所の方がプロレス中継の時間になると、「始まるでー」と声をかけられ、大勢の仲間と一緒に力道山の空手チヨップに興奮、手に汗を流していました。

35年にかけて、観音寺出身の大関琴ヶ濱が大活躍。内掛けの名人で、金星7個、3賞受賞も沢山取りました。そして、丸亀出身の関脇若三杉(後の大豪)は、35年5月場所ので県勢初の優勝を果たしました。



▲昭和35年 高松商業高校 選抜優勝 中央通り凱旋パレード

映画界では、31年に石原慎太郎の「太陽の季節」が映画化され、弟の石原裕次郎が初出演。以後の裕次郎ブームはご承知の通り。歌謡界では、19年に美空ひばりがデビュー。「悲しき口笛」や「東京キッド」など次々と大ヒット。歌謡界の「女王」と呼ばれていました。娯楽やスポーツは、ラジオからテレビへと移行した時代を私達は歩んできました。

ワクワクドキの連続 親父と見た「ターザン」映画

大衆娯楽の少なかつた戦後。私の思い出は、小学校低学年の頃、おやじに連れて行ってもらった高松ライオン館のターザン映画でした。さぬき市(旧大

川郡)から、オート2輪の後部か、3輪車の助手席に乗り、未舗装の旧国道を1時間かけて映画館へ。

ターザン役は、パリとアムステルダム五輪で合計5個の金メダルを取ったジョニー・ワイズミュラー。ムキムキの上半身裸で、ジーンズやボーイも登場。何より、ターザンの「ワーアアー」の叫び声に比べ、チーターやライオン、象などが大暴れし、悪者を退治するシーン。映画は「ターザンの怒り」「ターザン紐育(ニューヨーク)へ行く」など数本見ました。もちろん、白黒、画面も小さかったが、親父も私も大の動物好き。見終わった後は余韻に浸りました。親父も亡くなって半世紀以上過ぎ、単車にしがみつこうに乗っていた手の温もりが、今も残っています。(上之町・男・84歳)

徘徊者を早期発見せよ！

高齢者ひとり歩き見守り模擬訓練

徘徊高齢者の早期発見につながる取り組みとして、「高齢者ひとり歩き見守り模擬訓練」(栗林コミュニティ(栗林コミュニティ)協賛)が、栗林同訓練実行委員会主催、10月18日、栗林小学校周辺で行われました。



それぞの専門家から認知症についての説明が寸劇などで披露され、公衆電話デモ機の使用方法などの指導がありました。訓練は徘徊者役と捜索隊が3班に分かれて行われました。2度目の訓練とあって、スムーズに展開。捜索隊が次々と徘徊者を発見、無事「保護」しました。このあと、移動交番車の見学なども行われ、意識を深めました。

栗林校区の年間イベントのトリを飾る「福祉もちつき大会」(コミュニティ)が、栗林同訓練実行委員会主催、10月14日(日)、コミュニティセンターで開催されました。社協、民協、女性会など各種団体から約100人が参加して、まあるいもちに、

歳末を飾る「福祉もちつき大会」

新年への願いを込め、つき上げました。せいろで蒸し上げ、素早くもちつき機へ。つき上がったものは、あん入りと白もちに仕上げました。早朝から昼過ぎまで約200名が参加し、パック詰め。民生委員が独り暮らしのお年寄り宅に、栗林小児童のメッセージを添え配りました。

新年に願いを込め



栗林オータムフェスティバル

「歌って、踊って、晩秋を満喫」校区の子ども文化祭「栗林オータムフェスティバル2025」が、昨年11月9日(日)、栗林公園の商工奨励館で開催されました。今年結成10年目を迎える栗林オペレッタを中心として、香川高専



高松ダンス同好会などがゲスト出演、華やかにパフォーミングス。また、『庭園美術館』として、栗林小学校児童の絵画や工作、高松第一高等学校の美術部、写真部の作品、桜町保育所園児のかわいい作品も展示され、来場者の人気を集めていました。

一高生や園児の作品展示

また、『庭園美術館』として、栗林小学校児童の絵画や工作、高松第一高等学校の美術部、写真部の作品、桜町保育所園児のかわいい作品も展示され、来場者の人気を集めていました。

栗林校区文化祭 「栗林の秋」が勢揃い

「第20回栗林校区文化祭」(コミュニティ協議会主催)が、昨年11月8日(土)、9日(日)の2日間、栗林小体育館をメイン会場に開催されました。前回から同小体育館に変わり、広々とした会場にはセンターの講座生や同好会の作品展やステージ発表が勢揃いしました。文化祭学習発表会(コミュニティセンター)で、栗林小児童たちが、大阪万博にも出演した三木町朝倉獅子連が登場。黒赤、白などカラフルな大人獅子、子ども獅子が歴史ある演舞で会場を魅了しました。



2日間は、女性会のうどん、果物、野菜などのバザー、PTAのフランクフルトやキッチンカーが人気を集めていました。このほか、健康相談、小型家電回収、共同募金のくじ引きなどがあり、「文化・芸術・味覚の秋」を満喫していました。

午後からは、りんちゃんじゃんけん大会に続き、吟詠会、プアナニアロハのあと、お待ちかねのカラオケ。高田コミュニティ協議会会長がゲスト出演、自慢のノドを披露しました。

2日目は、バイオリン、ピアノ演奏に続き、昨年の大阪万博にも出演した三木町朝倉獅子連が登場。黒赤、白などカラフルな大人獅子、子ども獅子が歴史ある演舞で会場を魅了しました。

2日間を通し、女性会のうどん、果物、野菜などのバザー、PTAのフランクフルトやキッチンカーが人気を集めていました。このほか、健康相談、小型家電回収、共同募金のくじ引きなどがあり、「文化・芸術・味覚の秋」を満喫していました。

自分の世界を描く わくわくアート教室

わくわくアート教室「イロいろカラフルアート」(栗林校区コミュニティ協議会主催、栗林校区青少年健全育成連絡協議会主催)が、昨年11月15日、栗林小学校で行われました。イベントは、地元で創作活動する芸術家の村上さん、大河内さん、大沼さんを講師に招き、参加者と共同で作品を制作するワークショップ。講師から、「自分だけのいきもので新しい栗林動物園をつくろう」と言われると、参加した児童らは思い思いの道具で、自分の好きな動物を描いてきました。また、ふたごアーティストのTachiさんとShotakaさんもゲスト参加し、会場で自由に描く様子に児童らは興味津々でした。みんなで一緒に完成させた作品は栗林公園前地下歩道に3月末まで展示しています。



栗林公園 おもてなしクリーン作戦

昨年10月26日、栗林公園で清掃活動が行われました。参加者は、公園内を歩きながらゴミを拾い、きれいな環境を維持しました。



